

「オープンデータ^{※1}による燕市活性化大作戦」発表会を開催

－新潟大学工学部の学生が燕市の活性化のために検討を重ねました。－

このたび、新潟大学工学部の学生が燕市活性化のためのオープンデータの利活用方法について検討しましたので、その成果発表会を開催いたします。

新潟大学と燕市は包括連携協定を締結しており、本イベントは大学連携新潟協議会（代表 新潟大学学長 高橋 姿氏）の下に設置されているビッグデータ・オープンデータ活用研究会主催により開催されるものです。

燕市は、この成果を今後の市民サービスの向上のために活かしていきます。

【「オープンデータによる燕市活性化大作戦」発表会】

1. 日時：平成30年11月30日（金） 17：00から18：00（予定）
2. 場所：新潟大学工学部 1 階小会議室（工学部正面玄関入って左手）
3. 発表内容（仮タイトル、順不同）
 - (1) ハザードマップの立体化
 - (2) 燕市版「子育て支援アプリケーション」
 - (3) 燕市内で快適なインターネットライフを
 - (4) 燕市を観て、燕市で働いて -観光×雇用-
 - (5) スポーツ施設の地図アプリ
 - (6) 燕市版「AED 設置場所可視化アプリ」
4. 主催：大学連携新潟協議会^{※2} ビッグデータ・オープンデータ活用研究会
共催：アーバンデータチャレンジ^{※3}2018 実行委員会

※1 オープンデータ

政府や地方公共団体等が保有するデータは国民共有の財産であり、広く一般に公開し二次利用してもらうためにオープンデータという形で公開され、新たな価値を生み出すことが期待されています。

※2 大学連携新潟協議会

大学連携新潟協議会は、新潟大学、新潟薬科大学、新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟医療福祉大学、日本歯科大学新潟生命歯学部、新潟県立大学、明倫短期大学、事業創造大学院大学、新潟青陵短期大学部、日本歯科大学新潟短期大学、新潟工業短期大学で構成され、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、新潟市と連携協定を結んでいます。

※3 アーバンデータチャレンジ

地域課題の解決を目的とした地方自治体を中心とする公共データを活用した年間のイベント開催を伴う一般参加型コンテストで、一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）が主催し、コンテストに向けたディスカッションやオープンデータを用いた地域課題解決の事例報告等ワークショップを開催してきました。

本件についてのお問い合わせ先

総務部 総務課：高橋 義彦

電話：0256-77-8315（直通）